

2023年3月期第2四半期

# 決算説明資料

---

2022年11月11日



株式会社富士ピー・エス

証券コード：1848

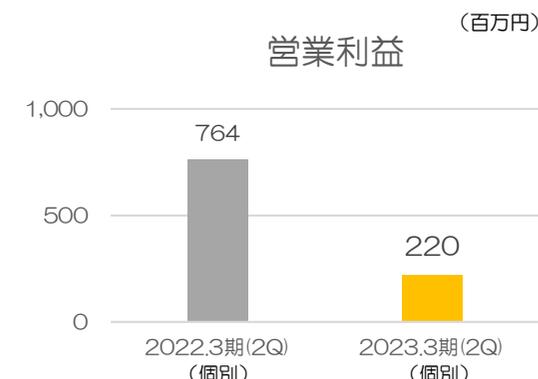
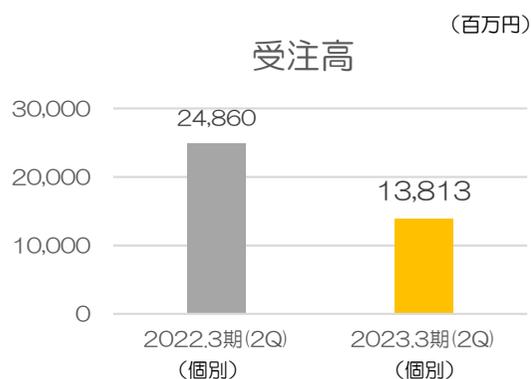
# 2023年3月期第2四半期 業績の概要（前期比較）

前期の好成績に対し減収減益となったものの手持高は同水準を保持

※2022年3月期第3四半期連結会計期間より連結財務諸表を作成しており、前連結会計年度との比較は行っていない。

（単位：百万円）

連結	2022/3期 (2Q)	2023/3期 (2Q)	個別	2022/3期 (2Q)	2023/3期 (2Q)	前期比		コメント
						増減額	増減率	
受注高	—	14,167	受注高	24,860	13,813	△11,046	△44.4%	土木事業で前期の大幅増に対し反動減
売上高	—	13,125	売上高	13,310	12,644	△665	△5.0%	手持工事は概ね順調に進捗したが、一部工事において作業条件見直しやコロナの影響で工程遅延が生じたことによる減収
売上総利益 (売上総利益率)	— (—%)	1,755 (13.4%)	売上総利益 (売上総利益率)	2,179 (16.4%)	1,679 (13.3%)	△499	△22.9%	売上高の減少及び材料高騰などにより工事利益率が低下し減益
営業利益 (営業利益率)	— (—%)	214 (1.6%)	営業利益 (営業利益率)	764 (5.7%)	220 (1.7%)	△543	△71.1%	売上総利益の減益及び販売費及び一般管理費の増加による減益（前期は過去最高レベル）
経常利益	—	228	経常利益	778	220	△558	△71.7%	同上
親会社株主に帰属 する四半期純利益	—	101	四半期純利益	594	102	△492	△82.8%	同上
(参考) 繰越工事高	—	43,246	(参考) 繰越工事高	43,231	42,872	△358	△0.8%	土木・建築ともに前期比同水準を保持

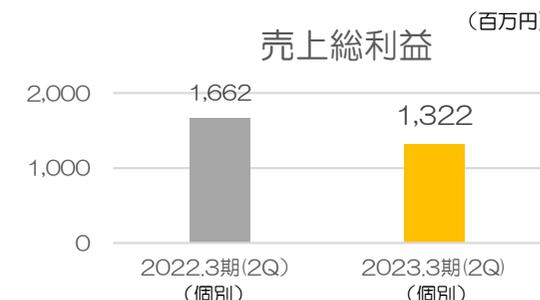
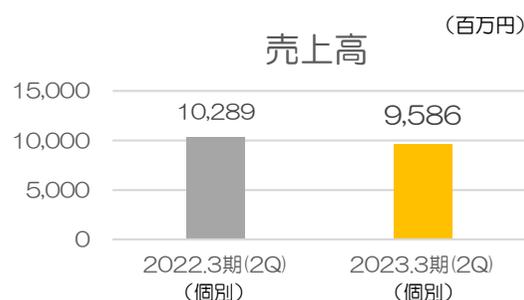
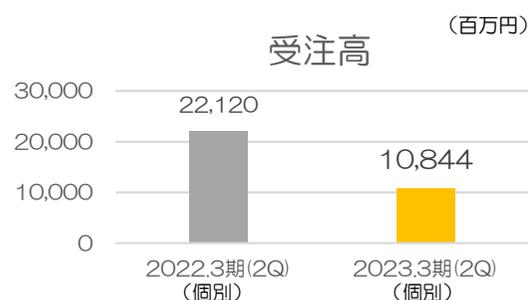


# セグメント別業績（土木事業）

受注高は反動減したものの手持高は前期同水準を保持、売上高は一部現場にて工程遅延が発生したことにより減収

（単位：百万円）

連結	2022/3期 (2Q)	2023/3期 (2Q)	個別	2022/3期 (2Q)	2023/3期 (2Q)	前期比		コメント
						増減額	増減率	
受注高	—	11,198	受注高	22,120	10,844	△11,276	△51.0%	前期の大幅増に対し反動減
売上高	—	10,066	売上高	10,289	9,586	△703	△6.8%	手持工事は、概ね順調に進捗したが、一部現場において作業条件見直しによる工程遅延が生じたことなどにより減収
売上総利益 (売上総利益率)	— (—%)	1,398 (13.9%)	売上総利益 (売上総利益率)	1,662 (16.2%)	1,322 (13.8%)	△339	△20.4%	売上高の減少及び工事利益率が低下し減益
(参考) 繰越工事高	—	37,057	(参考) 繰越工事高	37,052	36,684	△368	△1.0%	前期比同水準を保持



## 主な受注工事

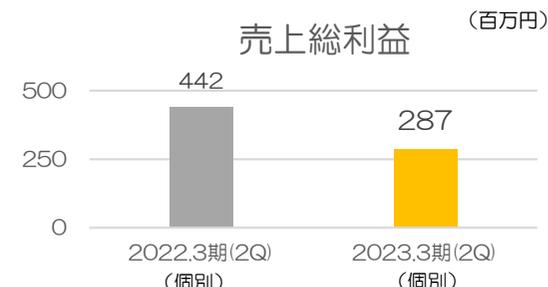
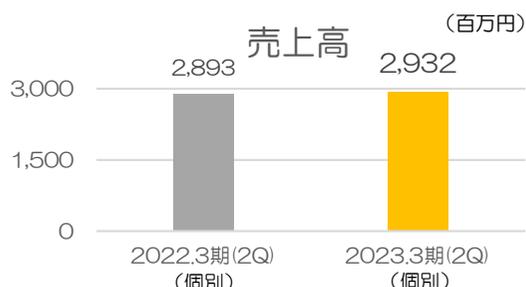
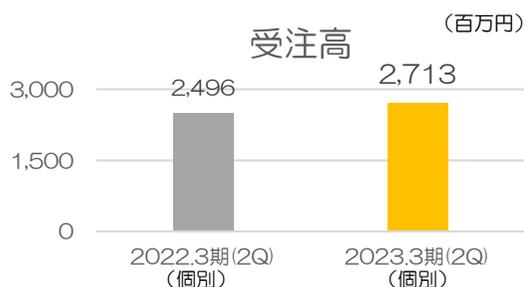
工事名称	発注者	工事概要
新名神高速道路錕ヶ瀧橋他1橋（PC上部工）拡幅工事	中日本高速道路（株）	新名神高速道路（錕ヶ瀧橋、笹路川橋）6車線化事業
令和2年度 佐世保道路 佐世保高架橋（拡幅）工事（その2）	西日本高速道路（株）	西九州自動車道（佐世保道路）4車線化事業
国道443号三橋瀬高バイパス柳瀬大橋橋梁上部工工事（2工区）	福岡県	国道443号三橋瀬高バイパス 4車線化事業

# セグメント別業績（建築事業）

新規受注は堅調、売上高は微増となるも売上総利益はコスト高騰の影響により減益

(単位：百万円)

連結	2022/3期 (2Q)	2023/3期 (2Q)	個別	2022/3期 (2Q)	2023/3期 (2Q)	前期比		コメント
						増減額	増減率	
受注高	—	2,713	受注高	2,496	2,713	216	8.7%	九州、関西地区で予定していた耐震補強工事の発注遅れが生じたが堅調に推移
売上高	—	2,932	売上高	2,893	2,932	38	1.3%	元請都合によるマンション事業の進捗遅れが生じるも微増
売上総利益 (売上総利益率)	— (—%)	287 (9.8%)	売上総利益 (売上総利益率)	442 (15.3%)	287 (9.8%)	△155	△35.1%	材料、輸送、労務費高騰などの影響により工事利益率が暗転
(参考) 繰越工事高	—	6,058	(参考) 繰越工事高	6,056	6,058	2	0.0%	前期比同水準を保持



## 主な受注工事

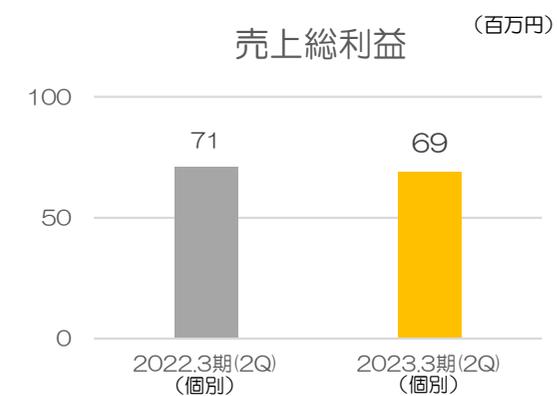
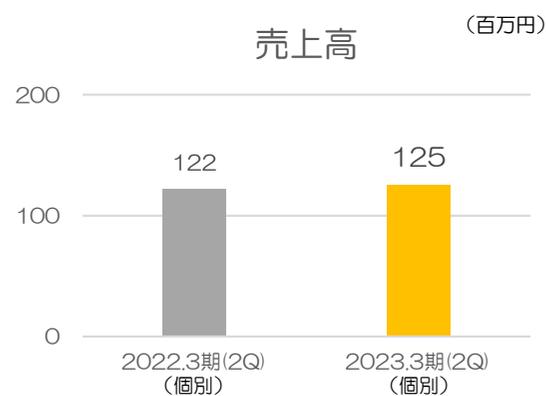
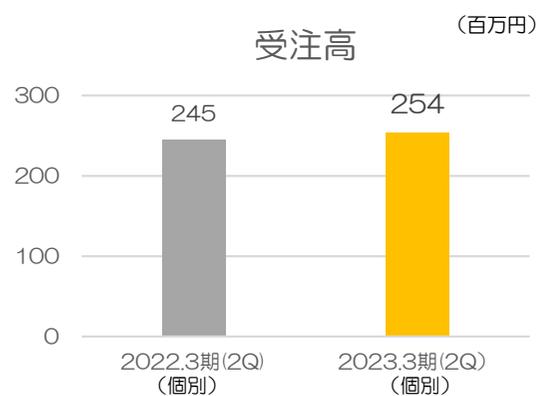
工事名称	発注者	工事概要
田町東地区第一種市街地再開発事業	東急建設(株)	新築マンション工事のFR板製作・運搬
(仮称)大阪市西区南堀江三丁目PJ 新築工事	(株)大林組	新築マンション工事のFR板製作・運搬
(仮称)六地蔵駅前プロジェクトⅡ期(B敷地)新築工事	(株)ハセック	新築マンション工事のFR板製作・運搬

# セグメント別業績（不動産賃貸事業）

テナントの入居率は堅調に推移

（単位：百万円）

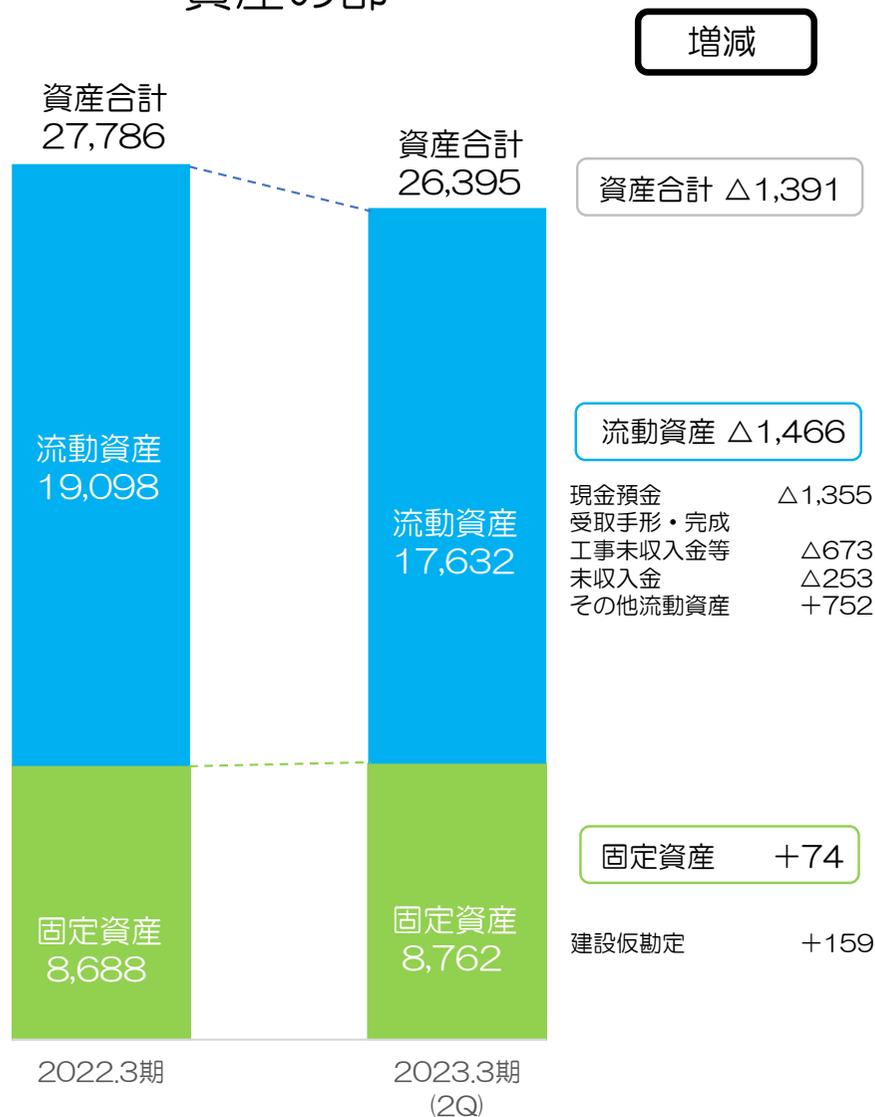
連結	2022/3期 (2Q)	2023/3期 (2Q)	個別	2022/3期 (2Q)	2023/3期 (2Q)	前期比		コメント
						増減額	増減率	
受注高	—	254	受注高	245	254	9	3.9%	受注高、売上高、売上総利益、繰越工事高ともに堅調
売上高	—	125	売上高	122	125	2	1.9%	
売上総利益 (売上総利益率)	— (—%)	69 (55.8%)	売上総利益 (売上総利益率)	71 (58.5%)	69 (55.8%)	△2	△2.8%	
(参考) 繰越工事高	—	129	(参考) 繰越工事高	122	129	7	6.0%	



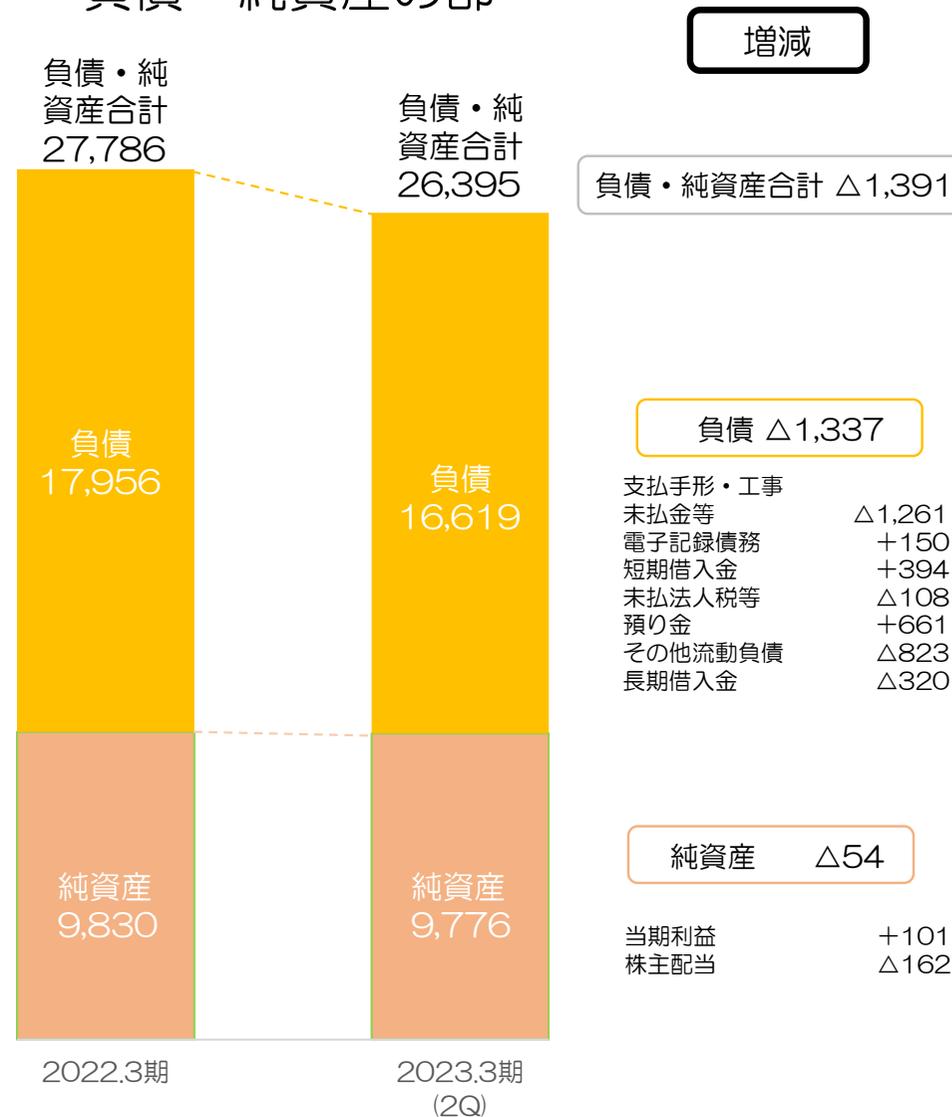
# 連結貸借対照表

(単位：百万円)

## 資産の部

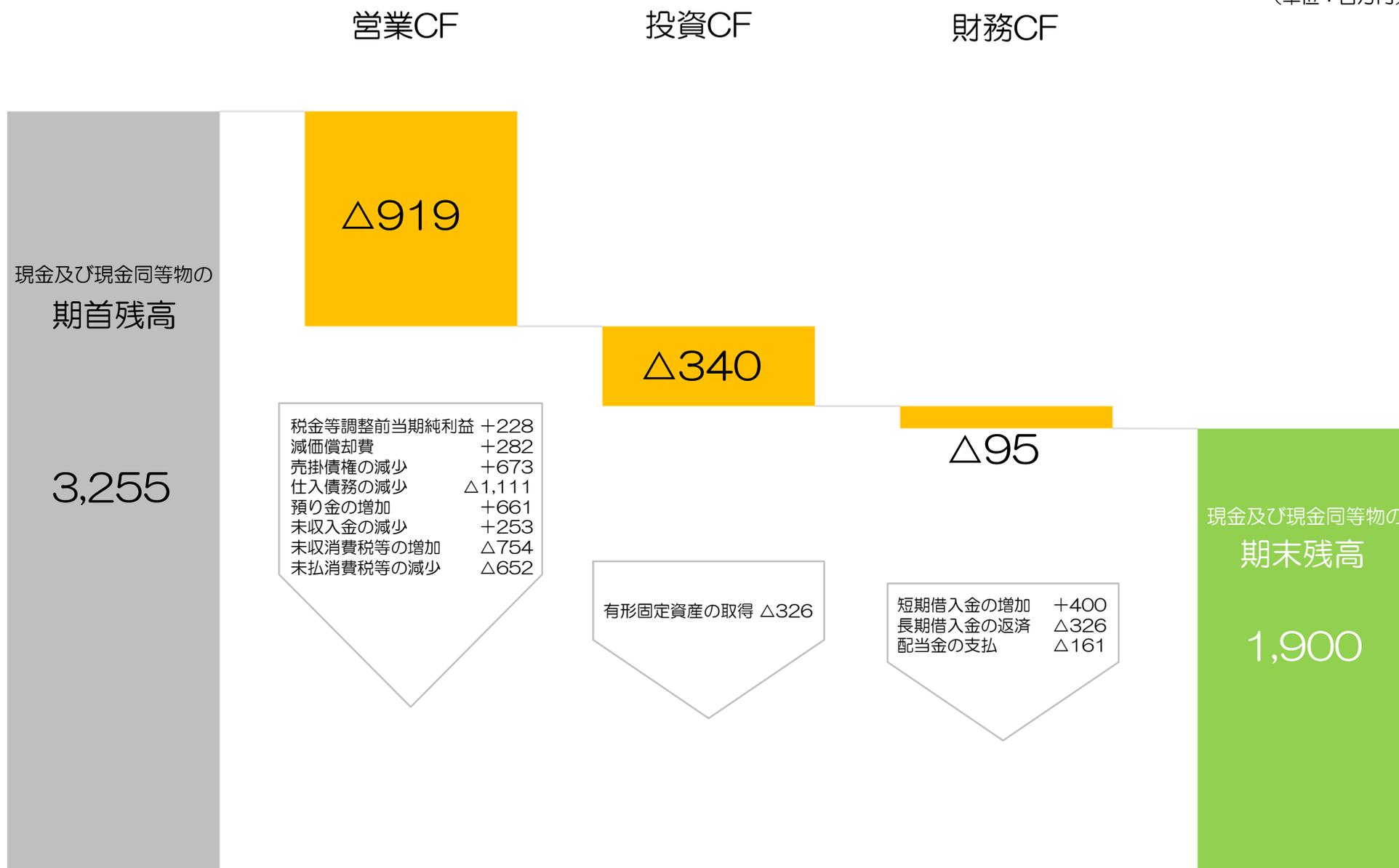


## 負債・純資産の部



# 連結キャッシュ・フロー

(単位：百万円)



# 2023年3月期 連結業績予想

受注高・売上高は増加予想、利益は工程遅延やコスト高騰などにより減益見込み

(単位：百万円)

連結	2022/3期 (実績)	2023/3期 (予想)	前期比		コメント
			増減額	増減率	
受注高	37,691	38,325	633	1.7%	高速道路の4車線化ならびに維持補修更新市場へ営業強化を図ることにより増加予想
売上高	27,301	28,640	1,338	4.9%	前期は第3四半期より連結開始したため、実質微増予想
売上総利益 (売上総利益率)	4,271 (15.6%)	3,935 (13.7%)	△336	△7.9%	材料高騰などによる工事利益率の低下に伴い減益予想
営業利益 (営業利益率)	1,048 (3.8%)	725 (2.5%)	△323	△30.9%	売上総利益の減少に伴う減益予想
経常利益	1,111	740	△371	△33.4%	同上
親会社株主に帰属する当期純利益	775	465	△310	△40.0%	同上
1株当たり配当金	9.0円	10.0円			配当性向20%以上を目指す
(参考) 繰越工事高	42,203	51,888	9,685	22.9%	過去最高見込み

